

あい 助け愛、
あい 支え愛、
あい 家族愛

在宅介護



「足が悪くなって、母がほとんど外出しなくなった……」
「起き上がりが困難な父の退院が決まったけど、自宅に帰ってからどうしよう……」
その時のため、介護について一度考えてみませんか？

「今はまだ元気だから介護なんて……」しかし、その日は突然やってくるかもしれない。お年寄りも介護者も笑顔で暮らせるように、みんなで介護について考えてみませんか。

介護を考える

介護で重要なことは、「お年寄りの気持ちを尊重すること」「介護者の負担を軽減すること」です。すっと笑顔でこの町に暮らして、年をとっても充実した毎日を送り、介護者が負担を感じずに介護を続けていける。これは皆さんの願いではないでしょうか。

ずっと笑顔でいたい

住民の5人に1人が65歳という現状では、もはや「介護」は他人事ではありません。本人だけでなく、その家族も介護をする立場になってしまつのです。

突然、前触れなく

在宅介護の多くは病気や事故等で、ある日突然前触れもなく始まります。介護を受ける本人だけではなく、その家族も介護をする立場になってしまつのです。

5人に1人が65歳以上

町の人口は平成23年5月末日時点で38,664人。そのうち65歳以上の人は8,117人、全体の20.99%、およそ5人に1人が65歳以上となります。

介護保険制度開始時の平成12年は人口35,179人、65歳以上の人は3,985人でした。この11年間で65以上の高齢者が4,132人増加し2倍強になっており、高齢化が進んでいることがうかがえます。



町の人口推移（※平成23年は5月末日時点です）

